



VOL. 137

平成27年 9月10日発行

宮城県大崎農業改良普及センター

〒989-6117 大崎市古川旭四丁目1番地1号

TEL (0229) 91-0727 (地域農業班)

(0229) 91-0726 (先進技術班)

FAX (0229) 23-0910

HP <http://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

E-mail osnokai@pref.miyagi.jp

Osaki

おおさき
～大きい輪、和、話～



もうすぐ刈取適期を迎える「ひとめぼれ」
(大崎市岩出山, 8月24日)

稲の刈遅れに注意しましょう

今年、四月下旬から気温が高めに経過し、日照時間も多めでした。特に梅雨明けからお盆前までは、連日真夏日になるなど暑い夏になりました。

この予想外の暑さに対して、皆様におかれましては、体調管理や農作物の栽培管理には大変なご苦労をされたと思います。

しかし、この好天により水稲の生育が進み、管内の平均的な出穂期は七月三十日となり、これまで例がないほど早まりました。

一方、降雨は春先から少ない傾向が続き、梅雨期間のまとまった降雨は、六月下旬に百ミリ程度あっただけでした。さらに、梅雨明け後もお盆前まで少雨傾向が続いたため、農業用水が不足し、用水の利用時間に制限を設ける「番水」が行われた地域もありました。

昔から「日照りに不作なし」と言われるように、雨が少なく、暑い年は、米の収量が高くなる傾向がありますが、近年は登熟期が高温になると、玄米の品質が低下することがあり、気がかりなところです。このように水稲の出穂が早まり、その後も高温に経過したため、刈取適期もかなり早まること予想されます。刈遅れに注意し、品質の高い米に仕上げましょう。

普及センターでは、水稲刈取適期など各作物の栽培技術情報をホームページなどで提供しておりますので、ぜひ御活用くださるようお願いいたします。

農業普及指導専門監 阿部 健司

普及センターが取り組むプロジェクト課題の紹介（新規課題）

① 集落営農モデル経営体の経営力強化

平成26年3月に農地中間管理事業の推進に関する法律が公布され、担い手への農地集積が推進されています。大崎管内では、農地中間管理事業を契機に、集落営農組織から農業法人への移行が増えています。この課題では農地の利用集積により、更なる経営力強化を図る2つの経営体を支援しています。

○雷（いかずち）生産組合 （組合員28戸，加美町）

加美町小野田雷地区では、平成19年に雷生産組合が設立され、機械の共同利用による低コスト化・省力化に努めてきました。また、構成員のほとんどが小野田種子生産組合員でもある特徴的な組織です。

普及センターでは、雷生産組合を対象に平成24年から関係機関と連携し、専門家派遣等の法人化支援を行ってきました。その結果、本年8月6日に構成員26名による「農事組合法人いかずち」が設立されました。

今後は、法人の運営支援や農地中間管理事業を活用した水稲採種ほ場及び転作地の団地化を推進し、経営力強化に向けた取組を支援していきます。

○農事組合法人下高城ふぁあむ （32戸のうち役員8名，色麻町）

色麻町下高城地区では、ほ場整備事業が進む中、水稲や大豆のほか、町の振興作物であるえごま、特産の高城ごぼう等を生産しています。平成18年の集落営農組合設立時から、プール計算による経理や、機械作業の共同化による生産コスト低減及び作業の効率化を図ってきました。

普及センターでは、平成24年から関係機関と連携し、法人化のメリット・デメリットや設立手順等を構成員らと検討し、専門家派遣事業を活用しながら法人化を支援し、昨年10月に法人が設立されました。

この際、農地中間管理機構への出し手等に対する支援（地域集積協力金、経営転換協力金）を得られることが取組の進展につながりました。

交付された地域集積協力金は、事務所の整備や機械の購入、当該法人の運転資金等に充てられ、地域農業の活性化に役立てられています。

農地中間管理事業により農地集積を図ったモデル経営体として、県内外から注目される当該法人ですが、法人化して間もないため、円滑な法人運営等が課題となっています。普及センターでは、今後も経営管理支援と更なる農地集積の推進、地域活性化事業の企画運営等を支援していきます。



法人化に向けた勉強会(雷生産組合)



地域集積協力金を活用し設置された法人事務所

②地域農業を担う青年農業者の 経営改善と自立支援

大崎管内における新規就農者数は、毎年10名程度で推移しています。近年は、国の青年就農給付金（経営開始型）を活用した就農事例が増えており、農業に取り組もうとする若い後継者の農業・農村志向の高まりが感じられます。

こうした中、新規就農者や就農後間もない青年農業者は、栽培技術や経営管理における知識や経験が不足していることから、自らが目指す経営目標の明確化及び課題の早期解決に向けた支援が必要となっています。

普及センターでは、個別に5年後の経営目標を聞き取り、達成に向けたアクションプラン（目標に向けた行動計画）の作成とその実行を支援しています。



いちご(上), なす(下)の巡回指導

自らアクションプランを策定することで、新規就農者が経営目標を定め、その達成に向けて取り組むべき事項を明確化できること、さらには、自らの策定したアクションプランに基づき率先して営農活動を行うことで、各課題を克服することを目的としています。

最終的には、生産実績や所得をまとめ、経営改善管理チェックシートを活用して自らの改善点を把握し、経営のサイクルを軌道に乗せることを目指しています。



青年農業者との意見交換の様子

また、新規就農者や大崎4Hクラブ会員を対象に、農業の先進地視察研修や先進事例の紹介等を通じて、自己の経営発展へのヒントを得ることを目的に「みやぎ農業未来塾」を開催しています。6月28日には、福島県二本松市の「きぼうのたねカンパニー(株)」等の視察や、福島県伊達地域及び安達地域の4Hクラブ員との交流会を行いました。次回は、将来の経営や生活を設計するライフプラン講習会の開催、生産・流通・販売等の経営にプラスとなる各種研修会の開催を予定しています。



「みやぎ農業未来塾」先進地視察研修

今後は、関係機関と連携しながら総合的な支援を行うとともに、引き続き、栽培技術や経営管理等の支援を行い、経営の早期安定を目指します。

農地中間管理事業を活用した 新規法人と認定農業者の紹介

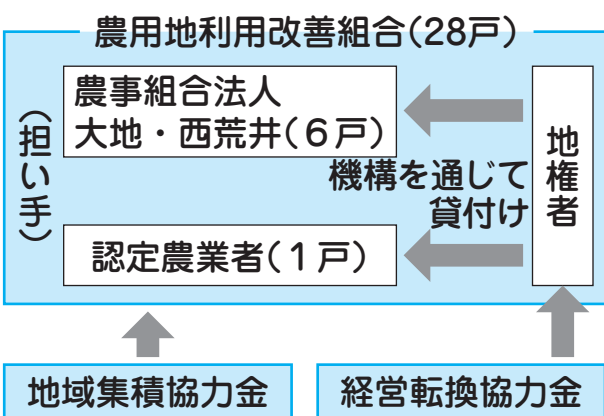
○取組の概要

大崎市古川西荒井地区は、古川地域で初めて農地中間管理事業を活用して農地の集積に取り組んだ地区です。当地区では、6戸の農家で設立した農事組合法人「大地・西荒井」と、認定農業者1名が主な担い手となっています。

農地中間管理事業を活用して一定の農地集積を図っていることから、地域集積協力金の交付や、リタイアして農地を手放す方への経営転換協力金の交付が見込まれています。

当地区では集落営農組合がそのまま法人化に移行するのではなく、数戸の農家で農地の受け皿となる法人を立ち上げるとともに、個人経営を希望する認定農業者は独立経営を維持し、地域農業を共創するという形を選択しました。地域農業の新たなモデル事例となることが期待されています。

農地集積後の集落の営農



○経緯

- 平成19年 西荒井上営農組合設立
組合員数：28名
経営面積：水稻29.8ha，大豆15.0ha
- 平成22年 農地整備事業「千刈江地区」が採択
- 平成26年
 - 6月 法人検討委員会を設立
(以後検討委員会7回)
 - 10月 法人設立準備委員会を発足
(法人設立準備会6回)
- 平成27年
 - 2月 「農事組合法人大地・西荒井」として登記し、農業経営改善計画を申請
当法人が農地中間管理機構（以下、機構）の受け手に申請
 - 3月 出し手の農地を農業委員会に申請
 - 4月 出し手から機構への貸付け
 - 6月 機構から受け手への貸付け



法人化に向けた勉強会

認定農業者連絡協議会総会研修会が 開催されました

7月28日に大崎市古川のインパルラ浦島で、大崎地域認定農業者連絡協議会（佐々木郁郎会長、以下「協議会」）が主催する研修会が開催されました。

この研修会は、当協議会の通常総会后、会員の経営力向上等を目的として毎年開催しているもので、今回は、会員ら約100名の参加がありました。

今年は、「農政の最新の情勢と今後の動向につい

て～東北における水稻作を中心に～」と題し、農林水産省の豊田東北農政局長より御講演いただき、東北における水稻を中心とした水田利用の状況と展開方向、現在の関連施策についてわかりやすく説明していただきました。

また、研修会終了後に開かれた懇親会では、参加者と活発な意見交換を行いながら相互の懇親を深めました。

認定農業者が、これからの地域農業をどう創造していくかを考える一助となることを期待しています。

第64回全国農業コンクール全国大会で 「優秀賞」を受賞

本コンクールは、全国において高い収益と快適な生活実現、地域発展に大きな影響を与えた卓越した農業経営体の取組を発表し、これを広く紹介・普及することで、農業の発展と農村地域の活性化に役立てることを目的としています。

本年7月8日に富山県高岡市で開催された本コンクールの発表会では、全国20代表に選出された加美町の農事組合法人 KAMI X（かみっくす）代表理事の近田利樹氏が「人と農地の仕組みを活



全国大会表彰式（後列右から2番目が近田氏）

かし、働きがいのある集落営農を実現」というタイトルで発表され、見事、全国優秀賞を受賞しました。併せて、子供の農業や食への関心を高める活動を行っている生産者に贈られる「緑と大地の農援隊賞」も受賞しました。

農業生産に加え、都市農村交流による農家民泊や農村体験、人材育成や地域づくりの特徴ある取組が評価され、今回の受賞につながりました。

今回の受賞を契機とし、農事組合法人 KAMI X の今後益々の活躍が期待されています。



「緑と大地の農援隊賞」もダブル受賞

農業大学校平成28年度学生募集のご案内

宮城県農業大学校は、将来の農業を担う優れた経営者や指導者の養成を目的として実践的な教育を行う2年制の専修学校です。

募集学部、募集人員、募集期間は下記のとおりです。詳しくは大学校ホームページにて御確認ください。

(<http://www.pref.miyagi.jp/site/noudai/>)

○募集人員 55名

水田経営学部15名、園芸学部15名、
畜産学部15名、アグリビジネス学部10名

○推薦入学試験

募集期間：平成27年9月4日～9月17日
試験日：平成27年10月1日(木)

○一般入学試験（前期）

募集期間：平成27年11月13日～11月26日
試験日：平成27年12月10日(木)

○一般入学試験（後期）

募集期間：平成28年1月15日～1月28日
試験日：平成28年2月16日(火)

※前期試験で定員を満した場合には、後期試験を行わない場合があります。



問い合わせ先

宮城県農業大学校
教務部
TEL:022-383-8138

新農業士の紹介 ～新たに2名が認定されました～

◆指導農業士



し ぶ や せ い じ
渋谷 誠司 さん (大崎市三本木)

平成19年に株式会社三本木グリーンサービスを設立し、水稲と大豆の複合経営を行っています。水稲については、水稲直播栽培を導入し、育苗や田植えの省力化・低コスト化を実現しています。

また、平成13年から22年まで青年農業士を務められ、県農業大学校の学生のほか、普及指導員や新規就農予定者の研修の受入れを行い、農業後継者や普及指導員の育成にも貢献されています。

◆青年農業士



さい とう あ き ひ と
齊藤 彰人 さん (大崎市三本木)

両親と経営を分担し、施設しゅんぎくと露地ねぎを担当しています。施設しゅんぎくについては、堆肥や有機質肥料を中心とした肥培管理を行い、農薬や化学肥料を控えた栽培に取り組んでいます。

J A古川春菊部会長のほか、平成25年度には古川地区農村青少年クラブ連絡協議会及び県連の会長を務め、古川地域の園芸振興や青年農業者の育成に貢献されています。

また、佐々木豊さん(大崎市三本木)、加藤恒治さん(加美町中新田)が指導農業士を、澁谷わかかなさん(加美町小野田)が青年農業士を御退任されました。長い間ありがとうございました。

みやぎまるごとフェスティバル2015 ～宮城県農林産物品評会、花き品評会～

今年もみやぎまるごとフェスティバル(以下「まるフェス」)が10月17日(土)、18日(日)に開催されます。開催場所は例年どおり、仙台市の宮城県庁1階及び県庁前駐車場、勾当台公園、市民広場です。

まるフェスでは、県内の農林水産業者、製造加工業者、販売業者及び技能者等が一堂に会し、県産品や技能者の作品等の展示、販売、実演を行います。

県産品の消費拡大及び地産産業の振興、震災か

らの復興のためにも、ぜひ「まるフェス」に御参加ください。

また、県庁1階ロビーでは、宮城県農林産物品評会と花き品評会が開催されます。

昨年は、当地域の農家から多くの農林産物等が出品され、ほうれんそう、だいこん、ばらの3品目が入賞しました。今年も多数の農林産物等の出品を心よりお待ちしております。

詳しくは普及センターへお問い合わせください。

出品申込み期限：10月5日(月)まで

(担当：地域農業班 今野)

農作業時の事故に注意しましょう

宮城県では、秋の農繁期である9月15日から11月30日までを農作業安全確認運動期間と定め、農作業安全を推進しています。

農作業を行う際には、事前に気象条件やほ場条件等を考慮し、無理のない作業計画を立てましょう。また、日頃から作業手順、作業環境や危険箇所についてチェックし、作業方法の見直しや作業現場を改善して安全で効率的な農作業を行えるようにしましょう。

万が一の事故に備え、緊急時の連絡体制を確認しておきましょう。

～農作業安全の実践・確認項目～

- ① 休憩の取れる無理のない作業
- ② 農作業や機械作業に適した服装
- ③ 点検・整備は、必ずエンジン停止
- ④ 油断せず後方確認、足元注意
- ⑤ 慎重なほ場への出入り、慎重なあぜ越え
- ⑥ 農道の走行時は、路肩の状況を確認
- ⑦ 道路走行に備え、反射板を装着

